

NATO加盟国及びISAF兵力貢献国首脳によるアフガニスタンに関する
NATOウェールズ首脳会合宣言（2014年9月4日）
（骨子）

○本日、（ISAFという）近年の歴史の中で最大の軍事連合に従事している間に命を落とし又は負傷したアフガニスタン及び国際要員に敬意を表する。

○ISAFは、アフガン国民が自分達の国の運命を取り戻す手助けをした。参加国間の政治的連帯を示すとともに、共に行動し作戦を行う能力を強化した。

○ISAFは、計画通り、2014年末に終了する。しかしながら、アフガニスタンへのコミットメントは、アフガニスタンからのテロリストに決して再び脅かされることがないようにするとの決意とともに、ISAFを超えて続く。

○ISAFの終了に伴い、アフガニスタンへの関与について、3つの平行的で相互補完的な活動を構想している。

1. 短期的には、「確固たる支援」任務である。

NATO加盟国及びパートナー国は、2014年以降もアフガニスタン治安部隊（ANSF）を訓練、助言、支援する用意がある。

2. 中期的には、ANSFの財政的な持続のための貢献である。

（1）ANSFへの財政支援について、コミットメントを継続する旨強調する。

（2）資金調達のメカニズムは、透明性、説明責任及び費用対効果を確保する。

（3）アフガニスタン政府には、腐敗を防止するための確固たる努力を求める。

（4）2024年までにANSFが自立して任務を実施できる取組を進める。

3. 長期的には、NATO・アフガニスタンの永続的なパートナーシップである。NATOは、アフガン政府と協力して、適時の国別パートナーシップ協力計画の策定を含め、NATOのパートナーシップ政策に沿ってパートナーシップを発展させる。

○アフガニスタンが主導し、主体となる包摂的和平プロセスを引続き支持する。

○善隣関係及び地域的支援・協力が肝要であり続ける。

○安定したアフガニスタンは、麻薬の不法取引、不法移住、テロ及び犯罪との闘いに進捗をもたらすことを含め、より広い地域へ積極的な貢献を行うことが可能となる。

○法の支配や良い統治が広く行われ、人権、特に子供の人権が完全に保護される、安定し、独立し、民主的で統合された国家となるべく前進するため、アフガニスタンに対して支援をすることを強く決意した。

○本日、我々はアフガニスタンが自国の未来を決定する上での支援とパートナーシップに関する重要な提案を行った。我々は、アフガニスタン国民に対するコミットメントについて、忠実かつ断固たり続ける。